

別記第3号様式

京都府教育委員会教育長 様

令和8年2月13日

ラボ名	日本史探究・歴史総合研究会（北部）
代表者所属名	京都府立福知山高等学校
代表者職・氏名	教諭 紺野 拓海

京都府立学校授業力等向上ラボ支援事業報告書

次のとおり報告します。

1 ラボ名

日本史探究・歴史総合研究会（北部）

2 研究テーマ

史資料の読解から歴史の真実に迫る―入試実践力の向上とともに―

3 研究の目的

史資料の読解について指導と評価の在り方を研究し、単元構想と授業実践に取り組みながら、指導力の向上を図る。

4 研究の成果と課題

共通テストや国公立大学個別試験の過去問題をベースに、多角的に資料を読解し、議論を重ねながら歴史を紡ぐ授業展開例を検討・協議した。実践交流、研究協議を通じて、より生徒が関心を寄せ、単元理解が深まる方法を考える良い機会となった。教材交流や実践報告など、昨年度よりも連携を深め、相互研鑽するコミュニティとして機能したように感じる。次年度はより実践報告、共有ができる仕組みを検討していきたい。

5 研究成果の波及方法

研究授業の資料等はteamsにて共有し、各自の授業実践でも活用できるようにした。また、実践報告の蓄積も進みつつあり、次年度は共有された教材をベースに、勤務校の実態に合わせた教材作成、演習が展開できると考えている。また、teamsだけでなく、対面での報告や協議の回数を増やすことで、より連携の取れたコミュニティにしていく予定である。

6 研究（活動）実績*

年月	研究（活動）内容（具体的に記載）	活動場所
令和7年7月 令和7年11月 令和8年3月	駿台教育探究セミナー（映像視聴25時間） 研究授業・研究協議 取組の総括、次年度への引き継ぎ	各自 京都府立宮津天橋高校 京都府立宮津天橋高校

7 予算執行状況

- (1) 旅費・研究会等参加費は、旅費等執行状況報告書に記載のとおり
- (2) 図書については、受領書のとおり

8 他校へ勧めたい実践又は他校へ呼びかけたい共同研究（できるだけ具体的に）

テーマ	史資料の取扱いと主体的・対話的な深い学びの実践
育てたい資質能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりに着目して多面的・多角的に考察したり、効果的に説明したりする力 ・ 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能
実践又は研究の具体的内容	<ol style="list-style-type: none"> ① 知識構成型ジグソー法/問いの構造図による授業実践例 （歴史総合：世界恐慌、ファシズム、日本の動向についてそれぞれが資料読解し、戦間期から第二次世界大戦までの動向をまとめる等） （日本史探究：室町時代の特色について政治・外交・経済の各分野の資料を読解し、まとめる等） ② 史資料の読解、短文論述に取り組ませる課題/レポート/演習例 （歴史総合：近代化、大衆化、グローバル化の各単元） （日本史探究：原始・古代・中世の各単元） ③ 史資料の読解を中心にした定期考査問題例 （歴史総合：近代化、大衆化の各単元） （日本史探究：原始～近現代の各単元） ④ 教材研究に活用できる事例や本の紹介 （歴史総合：教材共有サイトや刊行本の紹介） （日本史探究：刊行本の紹介）